

－2025年度第2回（第31回）建設技術講演会－

共催：(一財)茨城県建設技術管理センター
(公社)土木学会 関東支部 茨城会

(一財)茨城県建設技術管理センターおよび(公社)土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るために建設技術を多くの方々に知って頂きたく、参加費は無料とし、技術者の継続学習への貢献を考え、聴講者には土木学会CPD単位をお渡しております。この度は下記2名の講師による講演を企画いたしました。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加申込を頂ければと存じます。

○開催日時：2025年12月18日（木）受付13:00～ 講演会 13:30～16:10

○場所：茨城県建設技術研修センター 3階大ホール
〒310-0004 茨城県水戸市青柳町 4193

○プログラム：

13:15 開会

13:15 主催者挨拶

13:30～14:40（質疑時間を含む。）

〈講演1〉自然と生物に学ぶ地盤工学 ベントナイトと二枚貝を題材として—

〈講師〉茨城大学 学術研究院 応用理工学野 都市システム工学領域 講師 伊藤 大知 氏
〈概要〉本講演では、持続可能で高性能な地盤工学技術・知見の獲得に向けた学術的検討結果について、2つの題材を元にお話いたします。

まず、高レベル放射性廃棄物の地層処分事業におけるベントナイト系緩衝材の数万年以上の時間スケールでの長期挙動評価を実現することを目的とした、天然の粘土鉱物の挙動を手がかりとするナチュラルアナログ研究の成果についてご紹介します。

また、効率的な杭の貫入法を探ることを目的とした、二枚貝の潜砂挙動を分析し運動メカニズムを地盤工学的に解釈したバイオミメティクス研究事例についてもご紹介します。

14:40～14:50 休憩

14:50～15:10 (公社)土木学会関東支部茨城会 調査研究部会 成果報告
「茨城における近代土木技術の先駆者たち」

(公社)土木学会関東支部茨城会 調査研究部会 澤畠 守夫 氏

15:10～16:10（質疑時間を含む。）

〈講演2〉茨城県における極端降雨と災害への備え

〈講師〉茨城大学 学術研究院 応用理工学野 都市システム工学領域 教授 小林 薫 氏
〈概要〉我が国では、毎年のように甚大な豪雨災害が発生しています。これらの災害は、気候変動による記録的短時間大雨（降水量の増加や雨の降り方の変化）が背景にあります。茨城県内においても、平成27年関東・東北豪雨時の鬼怒川堤防の決壊、令和元年台風19号（東日本台風）時の久慈川、那珂川の堤防決壊、さらに2023年9月8日の台風13号時の日立市・高萩市・北茨城市での中小河川の複数氾濫などの水害が発生しています。本講演では、気候変動による記録的短時間大雨に伴う茨城県内の豪雨災害とその対応および今後の「備え」について説明します。また、その中で「粘り強い河川堤防」に関する研究についても紹介します。

16:10 閉会

○参加費：無料（事前登録制）

○特典：希望者には土木学会CPD単位が発行されます（2.5単位）

○申込方法 : 下記申し込みフォームより参加登録をお願いいたします

<URL> <https://forms.gle/VGxjE4DESBE38Jzq6>

<QR コード>



※定員に達し次第、申込締切とさせていただきますのでご注意ください

○申込期限 : 12月4日(木)

○連絡先 : 〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1 茨城大学日立キャンパス

土木学会関東支部事務局 担当:曾我部

TEL / FAX:0294-38-5160 E-mail : jsce.ibaraki@gmail.com